

第5回下水汚泥有効利用勉強会を開催しました

滋賀県では、順次更新時期が訪れる汚泥処理施設について、職員の知見を深め、更新時の参考とするため、汚泥有効利用についての新技术を勉強する場として、令和3年度から職員向けの勉強会を開催しています。

令和6年2月9日(金)に第5回勉強会を開催しましたので概要を報告します。

第5回勉強会は、高島市にある高島浄化センターコンポスト化施設の供用開始を機にこれまでの取り組みを振り返るとともに、肥料の販売開始後の普及啓発やPRについて学習しました。琵琶湖環境部、下水道課、南部・北部流域下水道事務所等から約25名が参加しました。

まず、担当してきた職員から、令和2年度より取り組んできた試験コンポストによる栽培試験の結果や、試験コンポストを用いた普及啓発活動（小学校や公園での試験施用、道の駅でのサンプル配布等）について説明しました。

つづいて、東京大学の加藤裕之特任准教授より他府県の先行事例を踏まえ下水汚泥肥料を普及させるためのポイントをご講演いただきました。

その後、コンポスト化施設を見学し、完成した肥料に手で触れながら製造工程等について学びました。

最後に下水汚泥肥料の資源循環と地域振興をテーマとして意見交換を行い、令和6年度の普及啓発活動を進める上で大変参考となるものとなりました。

引き続き現場見学や講演等を通して、職員の知見を深めていきたいと考えています。



加藤特任准教授の講義の様子



コンポスト化施設見学の様子